

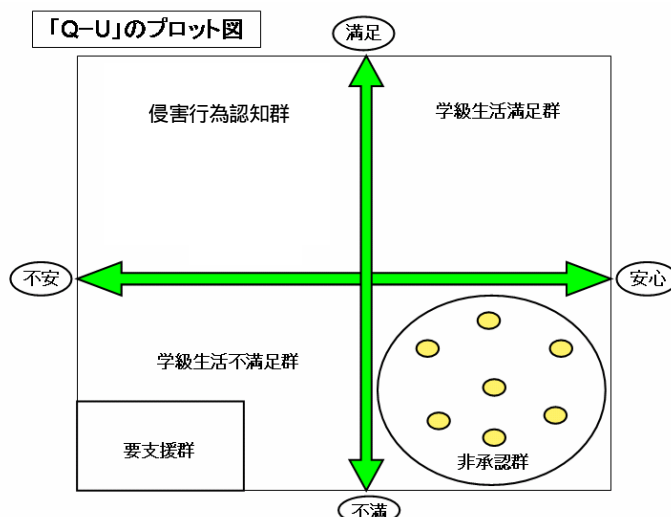
「Q - Uの活用術 パート3」 学級経営これからのポイント

高知市の学級の特徴は、縦型のプロット図が大変多いことです。これは、「非承認群(右下)」に位置する子どもたちへの対応が必要であることを意味します。この子どもたちは、「認められ感」が少ない子どもたちで、そのままにしておくと、「学級生活不満足群(左下)」に移行する可能性があり、そうなると学級の雰囲気が大きく変わってきます。

1 「Q - U」のプロット図の読みとり方 非承認群に位置する子ども

学級に居場所がないと考えています。学級内で認められることが少なく、自主的に活動しようという意欲が乏しい子どもたちです。教師から見ると消極的。このタイプは、内気で無気力な傾向があるか、自己表現の仕方を知らない、自己表現する場面をもてない子どもであると考えられます。

この縦型タイプの学級経営の多くは、教師主導の管理型になっている可能性があります。



改善のポイント「授業などでの教師のかかわり方」
教師と子ども、子どもと子ども同士がかかわり、ふれあう場面を1時間の中に設定する。
机間指導の時は、つまづいている所や分からなくなっていることについて何気なく声がけをする。
意図的に、少しの努力を認め、励ますなど……。

2 プロット図を作成した後に、学級・学年ですること

まず、裏面のシアセスメント用のシートを作成してください。このシートに教師自身が記入することで、プロット図のアセスメント(見立て)が容易になります。見立てをする場合には、人間関係の満足度(縦軸)とルール・マナーなど集団への安心度(横軸)のバランス、集団の崩れの段階、プロット図の特徴(縦型か横型、ななめ型等)を見ていきます。

次に、対応の方針や具体的な対応策を立てて実行します。7月～9月の効果的な取り組みによって、子どもの満足度が上昇し、その結果は、学級の雰囲気や2回目のプロット図に表れてきます。

対応策のチェックポイント

- 授業の進め方
- 学級活動の展開(朝、帰りの学活を含めて)
- 給食・掃除の時間の展開
- 授業外(休み時間・放課後)に必要な対応(個別面接・加力指導等)
- 児童生徒へのリーダーシップのとり方
- 学年の連携の仕方(TT, 合同授業, 役割の確認)

※ 学級担任の先生へ

下記のシートは、「Q-U」のプロット図の見立て(アセスメント)に役立てるものです。

詳しくは、6月 21 日(木)の校内不登校対策委員会担当者研修会で説明いたしました。ぜひ、ご活用ください。

「Q-U」アセスメント用のシート

年 月 日()実施

学級集団の背景	学校	年	組	人数	人(男子 , 女子)
				学級担任等()	
・学校の特徴 ……					
・学級編成の状況(もち上がり等) ……					
問題と感じていること					
・					
・					
・					
・					
学級のフォーマルリーダーの児童生徒					
・男子 ……					
・女子 ……					
学級のインフォーマルリーダーの児童生徒					
・男子 ……					
・女子 ……					
態度や行動が気になる児童生徒					
・男子 ……					
・女子 ……					
プロット図の位置が教師の日常観察からは疑問に感じる児童生徒					
・男子 ……					
・女子 ……					
学級内の小グループを形成する児童生徒					
・男子 ……					
・女子 ……					
4群にプロットされた児童生徒に共通する特徴					
・学級生活満足群 ……					
・非承認群 ……					
・侵害行為認知群 ……					
・学級生活不満足群 ……					
学級担任の方針					
・学級経営 ……					
・授業の展開 ……					
・その他 ……					